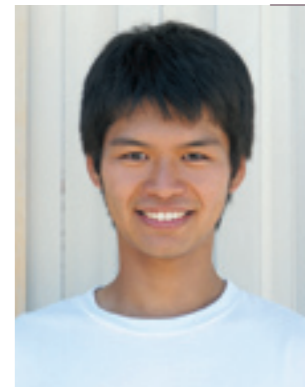


# 漕艇部「ボート部」



部長 総合科学部 自然システム学科 3年 松永 圭 まつなが けい

今年8月、夏休み、ほとんど風もないさわやかな晴天の下、板野郡北島町の今切川で子供のボート体験会(同町主催)が開催されました。例年は某企業のボート部が担当している催しですが、今年は企業側の都合により徳大ボート部が代行しました。同部のボート置き場や艇庫が近くにあるということもあつたかもしれません。

部員たちにとっては初めての経験ですが、子供たちも初めてのボートに最初は緊張気味。しかし半時間ほどかけて川を回って帰ってくる頃には、小さな体で一生懸命長いオールを動かしていました。徳大は県内の大学で唯一ボート部を有しています。部員は現在17名(女子2名)。中学や高校にボート部があるのは全国的にも少なく、県内では市立高校にボート部があるだけです。そのため部長の松永さんを初めてから始めました。「オリンピックの時、体験に誘われて生まれて初めて競技用のボートに乗せてもらったんですが、すごく



## 大学から始めても 全国で通用する選手になれる

<http://boatman.web.fc2.com/>



楽しくてその魅力のとりこになりました」

チームの息がぴたりと合ったとき、瞬間ボートにそのパワーが伝わってスピードが出る時の感覚などは

もらったんですが、すごく



何とも言えない醍醐味だそう。部活は日曜を除く毎日やっています。風の少ない早朝から行うことも多いですが、自然の中、川面の澄んだ空気を深呼吸しながらの練習は心身ともに鍛えられます。年間の競技としては、5月のGWに開催される関西最大の「朝日レガッタ」(主催)、1年生にとって初舞台となる7月の「四国インカレ」、8月の初旬に「関西選手権」と下旬の「全日本選手権」、11月の「加古川レガッタ」と「四国選手権」と多彩です。それに県下の大学唯一なので県代表として必ず試合には出場できるというのも、ある意味魅力かもしれません。部の行事としては春の新生歓迎会(花見や夏の合宿、冬はスノーボードに行くなど)、楽しく活動しています。9月に役員交代があるので、本誌が発刊される時には新たな体制で11月の競技会目指して練習に励んでいることでしょう。「いつでも体験できますので、ぜひ見学に来て一度乗ってみてください」と、松永さん。詳しいことや連絡はボート部のホームページからどうぞ。

# いろいろのふしぎフシギ

### 目に見えないけれど確かにある。私たちの体や行動や生活と繋がっているものを、じっくりと見極めてみましょう。

#### もの見え方



写真1 ルビンの壺 (図説心理学入門 1988より)

ルビンの壺(写真1参照)というのをご存知ですか?教科書で見たことのある人、心理学の授業などで聞いたことのある人もいるかもしれませんがね。まず中央に壺が見えます。そして、黒い部分に注目すると左右に二人の人の横顔が見えてきます。一方が見えている時は、もう一方は見えていません。

注目する部分を変えると、全く違った形が見えてきます。人や事象を見つめる時にも、同じようなことが言えます。一方から見るとマイナスでしかなかったことが、実はプラスの意味を含んでいたたり、苦手だと思っていた人の意外な一面を見て驚いたり。何かに悩んで苦しい時は、



写真3 コラージュ作品 雑誌等を自由に切り抜き、画用紙に表現する方法です。

かりでなく、少し力を抜いて、問題のことは関係がないようなことについて話し合っているときに、ふと何かに思いあたったりするから、本当に不思議です。

ちよつとこの絵の壺しか、あるいは横顔しか見えなくなっているとき、と言えるかもしれません。

#### どんな気持ちもみんな大切

日常生活を送っていると、いろんな人や出来事に出会います。うれしいことや楽しいこともありませんが、時にはひどく落ち込んだり、腹が立つたりすることもあるかもしれません。

腹が立ったり、悲しくなったりするのは、そのことが自分にとってとても大切なことと結びついているからとも言えるのです。自分にとって

大切だから、見過ごせない、いい加減に無視できないのです。でも、ネガティブな感情を一人で抱えているのは辛く、放っておくと日常生活にも様々な影響が出てきます。

#### 相談しよう

心の中を見つめようとするとき、目を近づけてそのものだけをじっと見つめていると、どうしても見えなかったのに、少し離れた場所からぼんやり見つめていると、ふっと浮かびあがってくる場合があります。カウンセリングはまさにそんな作業です。いつも真正面から対峙するばかりでなく、少し力を

#### ここに触れる

学生相談室では毎月第三木曜日の午後には、ほととの会(写真2)を開催しています。学生さん同士が交流したり、自分自身について新しい発見をしたりする場になるようにと、計画を立ててやっています。日常生活の中のうちとした憩いの場に、自分や他の学生さんとの間に触れるような場になればと思っています。その他、心理テストやコラージュ写真などをすることもできます。ぜひ、参加してみてくださいね。

#### キャンパスの「ほととルーム」 学生・職員相談室 利用案内

ご利用は、直接来室するか、電話またはメールでお申し込みください。 TEL:088-656-7637 E-mail: gkseisod@jim.tokushima-u.ac.jp

●常三島キャンパス 共通教育4号館1階 利用時間:月~金 9:30~17:30

●蔵本キャンパス 蔵本会館2階 利用時間:火 13:30~17:30 \*事前に予約すれば他の日時でも相談できます。

●「ほととの会」 毎月第3木曜日 14:30~17:00 学生さんとカウンセラーの交流の場です。